



「英知・友愛・錬磨」
令和3年度「3C=Change・Create・Continue」

～変化する・創造する・継続する～

福岡市立下山門中学校

校長 有友 剛

発行日:令和3年 10月 15日



Change(変化すること) Continue(継続すること)

緊急事態宣言及び福岡コロナ警報解除

長く続いた緊急事態宣言と福岡コロナ警報が解除されました。

2学期が始まり、学級閉鎖も数クラスありました。ご心配をおかけしました。10月に入ってから、全国的に新型コロナウイルス感染者数がかかり減少している事について、その理由はまだ、はっきりとわからない状況である事が政府や専門家から報告されています。同時に、第6波についても拡大の波が来ることが予想されています。今後予定されている学校行事等は、感染症拡大防止の対策を講じた上で、学校の状況をふまえ、進めて参りますので保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



Create(創造すること) 頑張れ! 36期!

生徒総会開催

第36期生徒会スローガン 虫工 ～心で繋がれ下中～

10月8日 第36期生徒会による生徒総会が開催されました。このスローガンに至った理由が書かれています。その中に「失敗を恐れず挑戦して個性を輝かせる」という文章があります。学校生活の中では、「学校が、先生が、誰かが・・・あなたに何をしてくれるか?」という気持ちで過ごすのではなく、「私が、学校や学級に対して何ができるか?」という気持ちで過ごすことが「あなた」という個性を成長させることに繋がっていきます。うまくいかない理由を探すより、どうやったらできるか?何ができるのか?を考えることが今の下山門中の皆さんにとっても重要なことではないかと思います。学校の主役は、君たち生徒ひとりひとりです。主役が輝けるよう先生たちは応援します。～「校長あいさつ」より～



Continue(継続すること)

こんな気持ちでいたいね。優しさにも勇気もいるんです!

・〇月〇日:登校中に気分が悪くなった生徒がいました。通りかかった生徒が声をかけ、

その生徒を介抱していたそうです。それに気づいた地域の方が救急車を呼び、学校にも連絡を下さいました。この優しさのリレーは、体調を崩していた生徒に、

温かさや安心を与えたことでしょう。付き添ってくれた生徒の皆さん、ありがとう!



・〇月〇日：その日は、雨がポツリポツリと降っていました。東門の落ち葉を掃除していた時、ある生徒が「おはようございます!」と声をかけてきました。「おはよう!」とあいさつを返した後、「校長先生、傘をかきましょうか?」と・・・その一言!!とても嬉しくなりました。



◇令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について(ご報告)◇

この調査は全国の小学校6年生と中学校3年生に対して行われている調査です。平成19年から実施されていますが、東日本大震災(平成23年)と新型コロナウイルス感染症(令和2年)の2回、中止となりました。国語・数学の2教科で「主として知識に関する問題」「主として活用に関する問題」が一体化した問題が出題されました。

【全国学力・学習状況調査】☆下山門中学校3年生は、全国・県標準と比較して、国語、数学ともに「②やや上回っている」という結果でした。※①・・・上回っている ②・・・やや上回っている ③・・・同程度である

④・・・努力を要する ①～④は、過去、蓄積したデータから勘案して教育委員会が4つの範囲を設定しています。

◆各教科では特に次の設問の平均正答率において特徴がみられました。

〈各教科における設問別での本校の主なもの〉

【国語】平均正答率が高かった設問の概要

- ・「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する。
- ・話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する。

【国語】平均正答率が低かった設問の概要

- ・参加者がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く。
- ・「喝采してやる」と「とった」のそれぞれについて、誰の動作なのかを選択する。

【数学】平均正答率が高かった設問の概要

- ・四角形 ABCE が平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する。
- ・「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。

【数学】平均正答率が低かった設問の概要

- ・与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する。
- ・数量の関係を一元一次方程式で表す。

〈生徒質問紙からみえること〉

- ・基本的な生活習慣、メディアの使い方、計画的な勉強、読書、ICTの活用など多くの項目において肯定的回答率が福岡県及び全国平均を上回っている。

【今後の改善の取組】

1. 家庭学習の充実を図ります。

昨年度より取り組んでいる F ノート(フォーサイト手帳)の活用を充実させる。これにより、見通しをもった生活を送ることができるようになることで、家庭学習の定着化を図ります。また、予習・復習や自主学習にタブレットを活用し、学校と家庭の学びをつなぐことに取り組めます。

2. 「学び合い」活動を取り入れた授業づくりに努めます。

「自分の考えが上手く伝わるよう、工夫して発表する」「話し合う活動で、自分の考えを深めたり、広げたりする」活動に取り組む。「学び合い」活動などの協働学習を取り入れた授業改善を推進します。

3. 副教材・学習アプリの活用を推進します。

授業中や補充学習において、副教材の効果的な活用と、ドリルパークを初めとする学習アプリを効果的に活用し、生徒それぞれの「学習の理解度」に応じた学習活動に取り組んでいきます。

4. 補充時間を有効に活用します。

記述式の問題での無回答率が高かったことを踏まえ、各教科等において、「考えを書く活動」や「考えを表現する活動」を学習の中で効果的に実施します。